



IBM Maximo Application Suite

単一のプラットフォームでインテリジェントな資産
管理、監視、予知保全、信頼性を実現

概要

信頼のおける設備運用や適応力、運用上のレジリエンスを確保するには、新しい取り組みが必要です。その取り組みは、変化する状況に企業が素早く対応し、さまざまな環境で事業継続性を維持するために役立ちます。効率を上げて運用コストを下げるために必要な、予防的、予測的、規範的な措置を理解するには、コネクテッドでインテリジェントな資産と未利用のデータ・ソースから得られるインサイトが非常に重要です。

必要とされているのは、扱いやすく、保守チーム、運用チーム、信頼性チームが企業規模で実行できる、AIを活用した設備資産管理(EAM)ソリューションです。

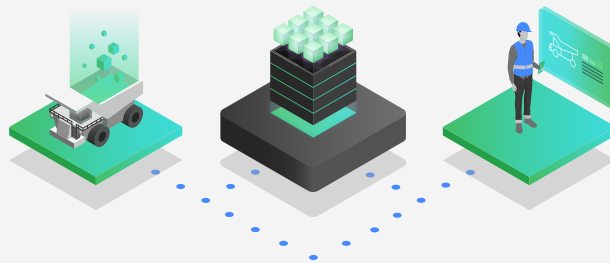
IBM® Maximoは、市場をリードする設備保全管理システム(CMMS)と設備資産管理(EAM)ソフトウェアを拡張しました。単一のプラットフォームに遠隔設備監視や保守、検査、信頼性のアプリケーションを備え、アップタイムの改善や生産性の向上、保守コストの削減、運用上のレジリエンス向上を可能にします。

このスイートはインストールと管理が簡単であると同時に、共有データやワークフロー、UX、ダッシュボードを備え、アプリケーションの使用法も柔軟で、優れたユーザー・エクスペリエンスを提供します。CMMS/EAMと設備パフォーマンス管理アプリケーションが利用可能になることで、チームはライフサイクル全体を通じて資産の運用を可視化し、ROIと生産性を向上させ、運用のアップタイムを改善することができます。

利点:

- アラートと異常をより正確に検知して生産アップタイムを改善できます
- AIでデータを分析し、事後対応から予知保全に移行できます
- フィールド技術者が外出先でも適切な資産データを利用できるようになるため、初回の修正率が向上します
- 資産のライフサイクル全体に信頼性戦略を導入できます
- わかりやすいライセンスと使用法で、必要なアプリケーションだけを使用できます
- オンプレミスでもマルチクラウドでも、柔軟な導入モデルを利用できます

IBMはデータの取得と分析から、規範的な保守活動の実現までの閉ループ・モデルを提供します。



資産から得られる新しいインサイト

- AIの異常またはアラート
- 外観検査
- 資産の健全性スコア
- 予測される障害

ワーク・キューの生成



保守履歴



新しい働き方

- 遠隔での専門家サポート
- モバイル・ワークスペース
- 診断インターフェース
- AIに基づく遠隔アシスタンス
- 資産の運用履歴
- IoT(モノのインターネット)センサー

仕組み

Maximo Application Suiteでは、ユーザーは単一の統合プラットフォームにサインオンして、重要な監視、保守、検査、信頼性のアプリケーションを事業全域で利用できます。一貫したユーザー・エクスペリエンスと共有管理制御を備えるこのスイートは、サイロを除去し、データ共有を促進して大規模な実行を促進します。また、より深いインサイトを提供して、チームがより速く目標を達成できるよう支援します。

企業は1つのライセンスでスイート全体を利用できます。組織内のユーザーは共同のAppPointsを持ち、1つのアプリケーションから別のアプリケーションへ、必要に応じてシームレスに移動できます。このような形で使用した分だけをお支払いいただくので、チームが新しい機能を導入して展開する間に、多額のライセンス・コストや管理コストを支払うことなく、新しいアプリケーションを試したり導入したりできます。

これは、組織が効率を上げて運用コストを下げるために必要となる、予防的、予測的、規範的な措置を講じながら、信頼性への取り組みを続けるための最も簡単でコスト効率の良い方法です。

このスイートで利用可能なアプリケーション

Maximo Manage (CMMS/EAM)

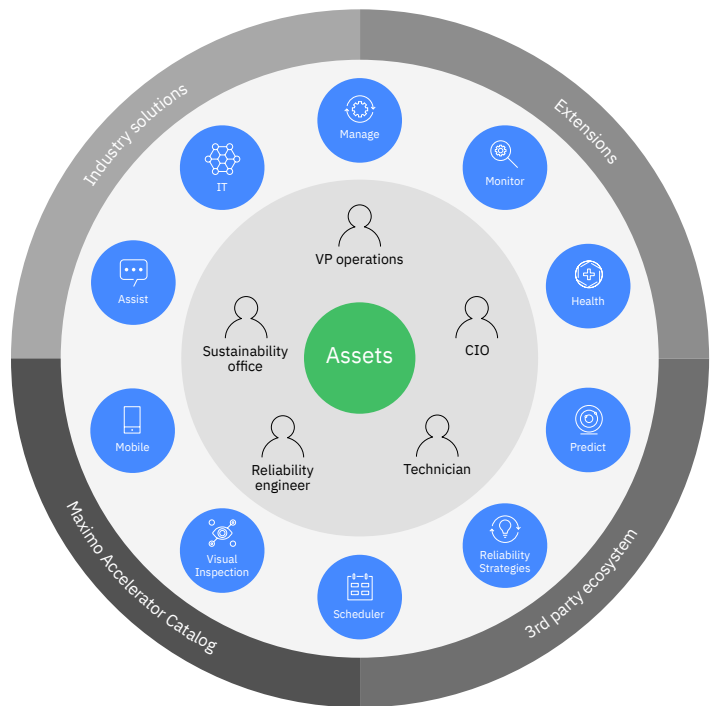
資産管理と保守プロセスを最適化することでダウンタイムとコストを削減し、運用パフォーマンスを向上させることができます。ベストプラクティスのデータ・モデルとワークフローが組み込まれた業界別ソリューションのメリットを活用すれば、業界の変革を加速できます。役割ベースのワークスペースを使用して資産管理プロセスを統合し、企業全体のチームを支援します。

Maximo Monitor

先進のAIを活用した大規模な遠隔設備監視で、資産と運用の可用性を向上させます。既存のOTシステムからデータを収集して可視化し、ITと運用システムを単一のデータレイクにまとめて、設備運用の中断につながる可能性のある異常を検知します。

Maximo Visual Inspection

設備やインフラストラクチャーの目視検査を実施して不具合や異常を特定し、検査中に撮影した画像や動画を分析して潜在的な問題を予測します。保守と高品質のワークフローを組み合わせ、迅速で規範的な対応を実現します。



Maximo Manageは、堅牢な資産ライフサイクルと保守管理活動を一体化し、企業の全資産とその状態、作業プロセスに関するインサイトを提供し、よりよい計画立案と管理を実現します。



Maximo Health

資産のセンサーから取得したIoT(モノのインターネット)データや、資産の記録、動作履歴を使用して資産の健全性を管理し、資産の可用性を高め、交換計画を改善します。ダッシュボードに資産の重要度とリスクを表示し、運用上の意志決定の土台となる根拠を提供します。

Maximo Predict

予定を組んで保守を行うだけでなく、さらにAIや機械学習を用いて状態に応じたアクションを取り、将来的に起こる可能性のある故障を予測して、コストを削減し、資産の故障を未然に防止できます。Maximo Predictは、履歴データとリアルタイムのデータを使用して、パターンや傾向、確率、異常を特定するので、事前対応型の措置を講じて資産の信頼性を高められます。

Maximo Mobile

いつでもどこでも、あらゆる資産を管理できます。次世代のモバイルテクノロジーに基づいて構築されたMaximo Mobileは、フィールド技術者の生産性を高めます。操作しやすい単一の直感的なプラットフォーム上で、適切な資産履歴や、運用データ、設置場所を見つけられるので、遠く離れた場所でも、オンラインでもオフラインでも、すべてを手のひらの上で確認しながら、保守作業と検査を実施することができます。

Maximo Assist

設備保守データのナレッジ・ベースを通じて、AIを活用したガイダンスを技術者に提供します。また技術者は、遠隔で専門家の援助を受けることもできます。直感的なモバイル・インターフェースを使って設備の問題を診断し、推奨される解決策を見つけ、音声やビデオ、ARを使って専門家と連携しながら問題解決に当たることができます。

信頼性戦略とライブラリー

信頼性中心保全(RCM)への合理化されたアプローチを導入することで、資産の信頼性、パフォーマンス、費用対効果を高め、価値実現までの時間を短縮します。この秩序立って体系化されたアプローチは、組織がコストとリスクを最小限に抑えながら、望ましいレベルの信頼性を実現するために、各資産の最適な保守活動を決定するのに役立ちます。このソリューションにより、迅速かつ簡単に信頼性戦略を作成し最適化できるようになります。

Maximo Accelerator Catalog

新しいMaximo Accelerator Catalogで、イノベーションを加速できます。IBMやパートナーのアプリケーションを利用して、Maximo Application Suiteの機能とエクスペリエンスを補完し拡張できます。シンプルなデータ・ファイルやコンテンツ、構成、ダッシュボード、添付ファイル、モデル・テンプレートから、さまざまな組み合わせのスタンダード・アプリケーションまでが揃っています。

Maximo IT

Maximo Manageのアドオンとして利用可能なMaximo ITは、ITサービス・マネジメント(ITSM)機能を備え、ユーザーとインフラストラクチャーのサポートを簡単にして、一貫したIT/OTサービス管理エクスペリエンスを実現します。セルフサービスや自動化されたサービス管理、ベスト・プラクティスに基づく一元化されたサービス・デスク機能によって、コストを削減し満足度を高めることができます。

Maximo Application Suite

簡単な導入でビジネスの成長をサポート

必要なものから始めて、ビジネス・ニーズの拡大に合わせて追加のアプリケーションを簡単にインストールできます。

使用分のみのお支払い

ユーザー単位でのライセンス交付により、スイート内のどのアプリケーションでも購入できます。使用量は同時ユーザー数に基づきます。使用量がカウントされるのは従業員がソフトウェアを使用しているときだけなので、信頼性ソリューションのROIを向上させることができます。

あらゆるクラウドに展開

Red Hat OpenShiftのどこでも実行可能なモデルを使用して、オンプレミスでも任意のクラウドでも実行できます。

IBMが選ばれる理由

Maximo Application Suiteは、IBMの資産管理と運用管理における数十年間のリーダーシップに基づいて構築されており、データの収集と分析から規範的な保守活動までの閉ループ・モデルを提供します。これは、IBMのエンタープライズ規模でのデータサイエンスとAIへの深い取り組みと、IoTプラットフォームやハイブリッドクラウド、セキュリティ分野で認められたリーダーシップによって支えられています。

IBMのビジネス・パートナーのグローバル・エコシステムは、90を超える国または地域で、より迅速なROIをもたらす業種・業務固有のソリューションやアドオンを含むソリューションをお客様に提供してきた実績があります。

[詳細はこちら →](#)

IBMのソリューションの詳細については、Maximo Application Suiteのインタラクティブな製品ツアーにご参加ください。

[専門家への相談予約 →](#)

資産を最大限に活用するために何から着手すべきか、IBMエキスパートに今すぐご相談ください。

[料金見積もりツール →](#)

今すぐ料金見積もりツールをお試しいただき、ニーズに合わせた即時見積もりを入手してください。

© Copyright IBM Corporation 2023

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒105-5531
東京都港区虎ノ門二丁目6番1号
虎ノ門ヒルズ ステーションタワー

2023年9月

IBMとIBMのロゴ、IBM Maximoは、米国およびその他の国または地域におけるIBMの商標または登録商標です。その他の製品およびサービス名は、IBMまたはその他の会社の商標である場合があります。IBM商標の最新リストは、ibm.com/jp-ja/trademarkでご確認いただけます。

Red HatおよびOpenShiftは、米国およびその他の国におけるRed Hat社またはその関連会社の商標または登録商標です。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

本資料の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとしします。

IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

